

竹の径 かぐやの夕べ

向日市の秋の一大イベント「竹の径・かぐやの夕べ」が、今年もやってきます。
水ろうそくのあたたかな光が灯る約4000本の竹行灯が、幻想的で幽玄な空間を醸し出します。
この時期にしか見ることができない竹の径の特別な景色をお楽しみください。

◎向日市観光協会 事務局 TEL 070-1765-5398

10月17日(土)、18日(日)

場所／竹の径周辺、第6向陽小学校

午後5時30分～8時

※飲食エリアは午後4時から

※小雨決行

会場MAP



アクセス

■シャトルバス(無料)

午後4時～9時運行(約30分間隔)

▶1号車

阪急洛西口駅(西出口ロータリー)⇄向日回生病院
※17日(土)のみ午後1時45分から運行開始

▶2号車

向日市役所東向日別館⇄第6向陽小学校

▶3号車

乙訓総合庁舎⇄第6向陽小学校

※シャトルバスの定員は約25人です。満席でご乗車いただけない場合があります。
※交通状況により、予定している時間どおりに運行できない場合があります。
※各ルートの時刻表や詳しい乗り場は、向日市観光協会ホームページからご確認ください。

**会場や周辺に駐車場はありません。
公共交通機関やシャトルバスをご利用ください。**



◀最新情報は向日市観光協会ホームページをご確認ください。

■路線バス

▶JR京都線「桂川駅」

阪急京都線「洛西口駅」利用の場合
京都市バス、ヤサカバス「向日回生病院前」下車すぐ

▶JR京都線「向日町駅」

阪急京都線「東向日駅」利用の場合
阪急バス「東山」下車徒歩7分



竹の径・かぐやの夕べ ... 2

令和7年度決算状況 6

高額療養費制度が見直されています..... 11

むこう アートコレクション 2026を開催します 12

くらしの情報..... 14

子育て支援情報..... 26

健康づくり情報..... 28

各種相談日程..... 29

図書館だより..... 30

スポーツフレンドシップ協定連載(サンガ編)..... 31

- 市役所への窓口来庁や電話でのお問い合わせは、平日午前8時30分～午後5時15分までです。電話は、各担当課の直通電話(または代表番号TEL 931-1111)にお掛けください。
※公民館やコミセンなどの公共施設は、各施設の開館時間内をお願いします。
- 市役所へのファクスはFAX 922-6587、郵便物は〒617-8665 向日市役所(住所不要)、電子メールはinfo@city.muko.lg.jpにお送りください。
※ファクス、郵便物、電子メールには、市役所のどこの課(担当課名)宛てかをお書きください。
- 参加費などの記載がないものは、無料でご参加いただけます。

広報むこうは
市ホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.muko.kyoto.jp/>

市公式SNSはQRコードからご覧ください。



【まちのうごき】(令和8年9月1日現在)
住民基本台帳人口
人口 55,668人 世帯数 25,920世帯
(男性 26,691人、女性 28,977人)
推計人口
人口 55,156人 世帯数 23,998世帯
(男性 26,223人、女性 28,933人)

必見！ 竹の径・かぐやのタベ

飲食エリア

第6向陽小学校のグラウンドでは、たくさんの地元グルメを楽しめるマルシェを開催します。ぜひ、お楽しみください。

また、「竹の径・かぐやのタベ」と同時開催される「竹結びフェスタ」の飲食・物販コーナーでは、京都西山の特産品を使ったメニューなどを販売します。



見どころエリアをご紹介します 花灯路エリア

第6向陽小学校から竹の径へ行く途中、たくさんの竹行灯が来場者の皆さまをお出迎えします。

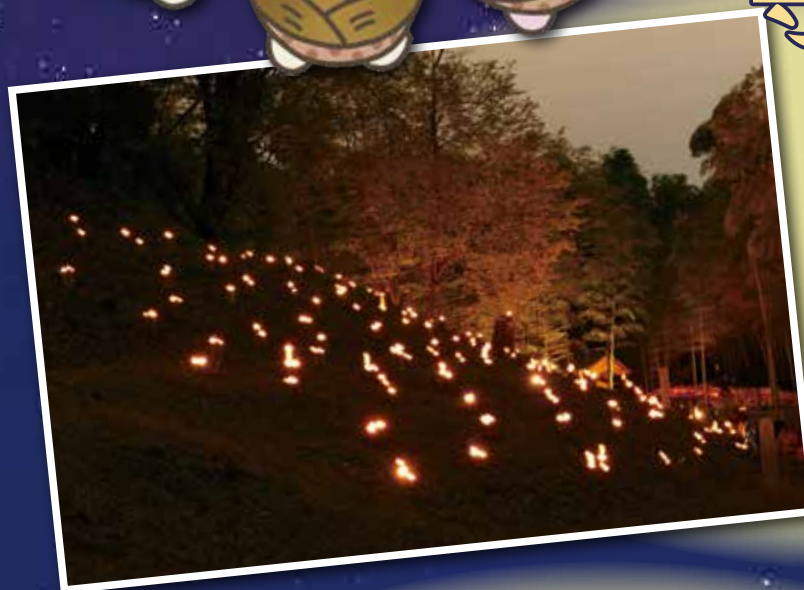
柔らかい灯をお楽しみください。



寺戸大塚古墳 エリア

花灯路エリアを抜けると、竹の径の入口に到着します。竹筒の中で揺れる「水ろうそく」が竹林や竹垣を優しく照らします。

竹の径を進んでいくと、西側に寺戸大塚古墳が登場します。竹行灯に彩られた古墳は圧巻です。



イルミネーション エリア

京都市洛西竹林公園の「子どもの広場」を目印に道を曲がると、イルミネーションエリアが広がります。竹全体がライトに照らされ、竹行灯とはまた違う雰囲気を楽しむことができ、写真撮影にもぴったりです。



★ 竹結び フェスタ 2026 ★

「竹の径・かぐやのタベ」に併せて、飲食・物販ブース、ステージ企画やワークショップなどが楽しめる向日市・京都市協働イベント「竹結びフェスタ」が開催されます。

地域の特産品を使った料理、「竹」を使ったワークショップなど、地域資源である「竹」に触れながら楽しめるイベントです。

- 日時／10月17日(土)午後1時～7時30分
※18日(日)の開催はありません
- 場所／京都市洛西竹林公園 子どもの広場
※駐車場はありません。
- 内容／飲食・物販ブース、キッチンカー、ステージ企画、竹あそびエリア



令和7年度決算状況

財政課 874-1985

一般会計

令和7年度の決算状況は、歳入286億2,655万円、歳出265億3,816万円、歳入歳出差引総額は20億8,839万円で翌年度に繰り越す事業の財源を除いた実質収支は19億6,205万円となりました。

歳入面では地方特例交付金及び地方交付税や、諸収入などが減少したものの、市税や、国庫支出金、市債などが増加したため、総額で前年度比9.2%増の286億2,655万円となりました。

一方、歳出面では、JR向日町駅東口開設推進事業や障がい者自立支援給付費、児童手当、史跡物集女城跡買上事業、第1留守家庭児童会増築工事に係る費用が増加したことにより、総額で前年度比8.1%増の265億3,816万円となりました。

なお、消費税率引き上げ分に係る地方消費税交付金につきましては、全て社会保障施策に要する経費に充てています。

※カッコ内%は構成比

※6～9ページまでの文中、各表、円グラフ中の数値は1万円未満と構成比(%)の小数点第2位以下を端数調整しています。

財政の健全化判断比率

令和7年度決算に基づく本市の比率は次のとおりです。
いずれの比率においても、財政・経営状況を改善する計画の策定を義務付けられる基準(財政状況が悪化していると考えられる基準)には該当していません。

健全化判断比率

区分	向日市の比率	早期健全化基準
実質赤字比率	—	12.86%
連結実質赤字比率	—	17.86%
実質公債費比率	1.9%	25.0%
将来負担比率	—	350.0%

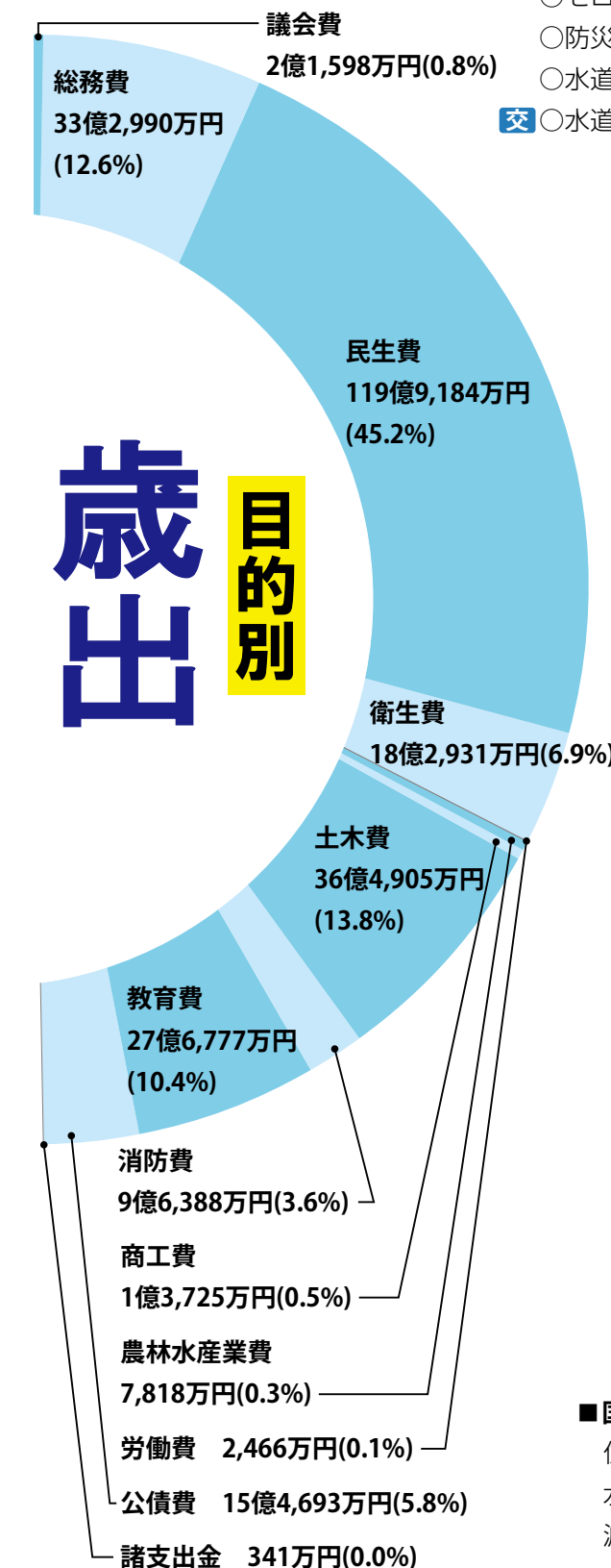
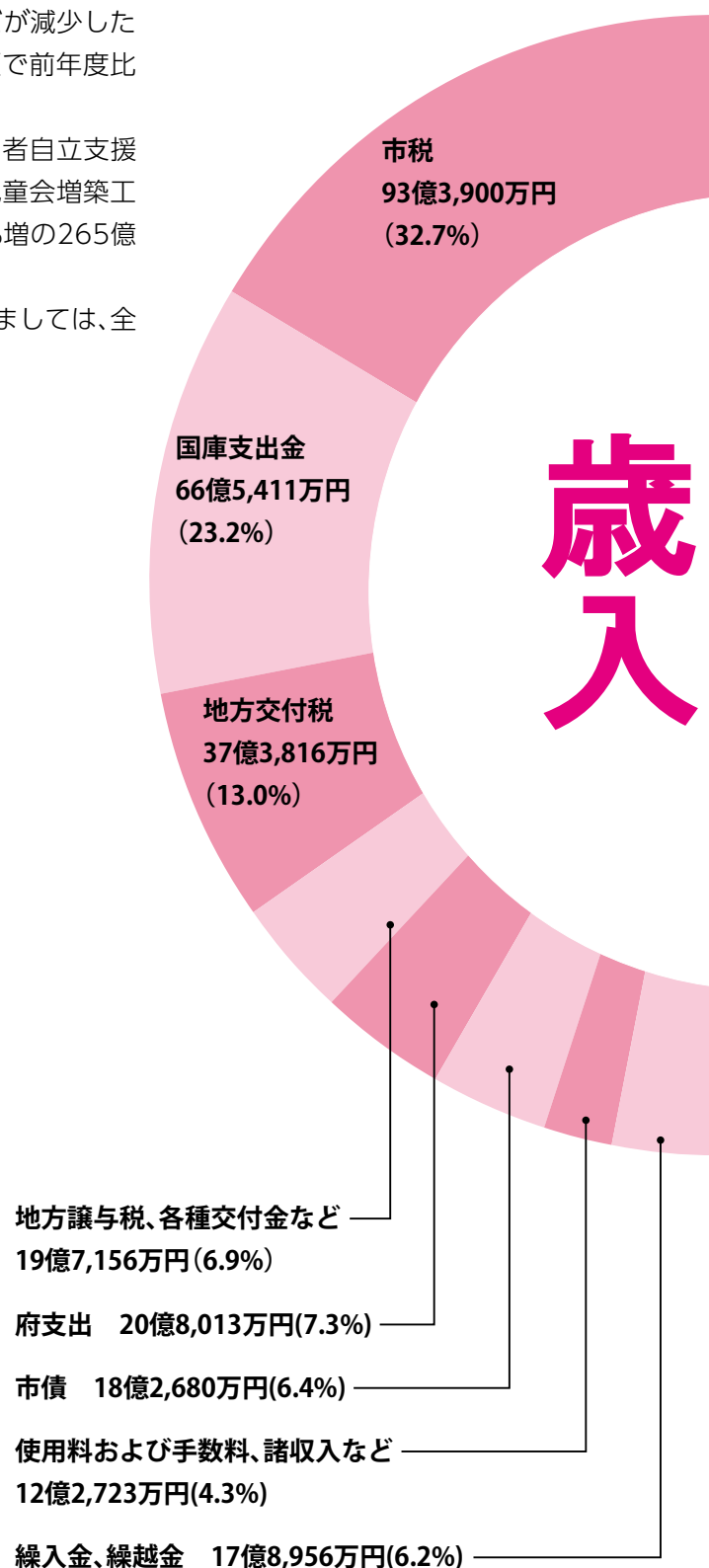
資金不足比率

特別会計の名称	向日市の比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
公共下水道事業会計	—	20.0%

※「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は赤字額または資金不足がないため、「将来負担比率」は充当可能財源等が将来負担額を上回り、算定されなかったため「—」(該当なし)として表示しています。

歳入 286億2,655万円

歳出 265億3,816万円



令和7年度の主な事業

交…国の重点支援地方交付金活用事業

歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

- 史跡長岡宮跡大極殿東面回廊地区保全整備事業
- 向日庵(旧寿岳家住宅)買上事業
- 史跡物集女城跡買上事業
- 道路整備推進事業
- J R向日町駅東口開設推進事業
- ゼロカーボン推進事業
- 防災力強化事業
- 水道管路の耐震化事業

交 ○水道料金及び下水道使用料の基本料金減免



▲J R向日町駅東口整備の様子



▲防災訓練の様子



▲向日庵(旧寿岳家住宅)

人と暮らしに 明るくやさしいまちづくり

- 保育環境改善事業
- こどもの生活・学習支援事業
- 第1留守家庭児童会増築事業
- 民間放課後児童クラブに対する運営等補助事業
- 5～6年生の自習室拡充事業
- 若年がん患者在宅療養支援事業
- がん患者のアピアランスケア支援事業

交 ○学校給食費保護者負担軽減事業

- 第2向陽小学校建替事業
- 寺戸公民館整備事業
- 新市民温水プール整備事業



▲第1留守家庭児童会増築棟

信頼と協働で 市民の声が届くまちづくり

- 被爆80年平和祈念事業
- 自治体D X推進事業
- ご当地ナンバープレートデザイン更新事業



▲ご当地ナンバープレート



▲被爆アオギリ二世

■国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しました
住民税非課税世帯支援給付金、低所得者支援及び定額減税補足給付金、水道料金及び下水道使用料の基本料金減免、学校給食費保護者負担軽減事業

特別会計と公営企業会計の決算

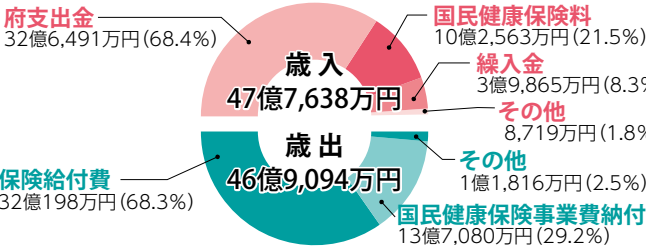
※カッコ内％は構成比

国民健康保険事業特別会計

医療保険課 874-2793

国民健康保険は、国民皆保険制度に基づき、自営業の方や退職して職場の健康保険などをやめた方などが加入する医療保険制度です。

令和7年度の決算は、歳入総額が47億7,638万円で前年度比1.5％減、歳出総額が46億9,094万円で前年度比2.0％減となりました。

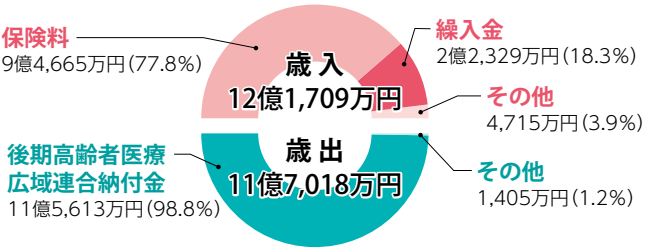


後期高齢者医療特別会計

医療保険課 874-2798

75歳以上の方を対象とした後期高齢者医療制度における市町村事務の収支の決算です。

令和7年度の決算は、歳入総額が12億1,709万円で前年度比7.0％増、歳出総額が11億7,018万円で前年度比6.7％増となりました。

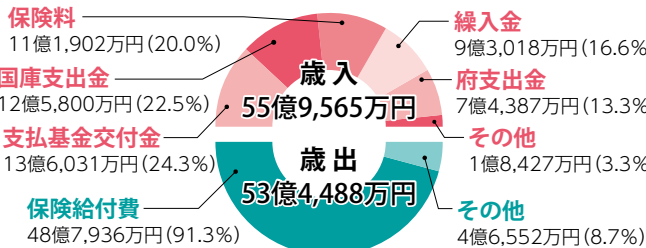


介護保険事業特別会計

高齢介護課 874-2591

介護保険の被保険者で、要支援認定者や要介護認定者に対して、必要な給付を行うための特別会計です。

令和7年度の決算は、歳入総額が55億9,565万円で前年度比4.1％増、歳出総額が53億4,488万円で前年度比2.9％増となりました。



水道事業会計

公営企業課 874-3870

令和7年度の決算では、収益的収入は、前年度比0.7％減の12億119万円(税抜き。以下同じ)で、収益的支出は、修繕費などの減により、前年度比2.7％減の11億4,953万円となり、純利益額は5,166万円となりました。

資本的収入は、企業債などの減により、前年度比32.5％減の2億1,798万円、資本的支出は、改良工事費などの増により、41.4％増の6億8,854万円となりました。

■収益的収支…経営活動に伴う収支で、収入は主に水道料金、支出は受水費、人件費、修繕費、減価償却費などです。

区 分	決算額(税抜)
収 益 的 収 入	12億119万円
収 益 的 支 出	11億4,953万円

■資本的収支…水道施設の設備投資に伴う収支で、収入は工事負担金や企業債など、支出は建設改良費や企業債償還金などです。

区 分	決算額(税抜)
資 本 的 収 入	2億1,798万円
資 本 的 支 出	6億8,854万円

※資本的収支の不足額は、建設改良積立金などで補てんしました。

■実施した主な事業…上植野町落堀地区他配水支管布設替工事など

公共下水道事業会計

公営企業課 874-3870

令和7年度の決算では、収益的収入は、前年度比0.1％増の15億1,886万円、収益的支出は、前年度比0.1％増の15億1,886万円となり、純利益額は0円でした。

資本的収入は、企業債などの減により、前年度比6.0％減の4億158万円、資本的支出は、流域雨水建設費などの減により前年度比13.6％減の9億8,699万円となりました。

■収益的収支…経営活動に伴う収支で、収入は主に下水道使用料、一般会計からの繰入金など、支出は人件費、京都府流域下水道に係る負担金、減価償却費などです。

区 分	決算額(税抜)
収 益 的 収 入	15億1,886万円
収 益 的 支 出	15億1,886万円

■資本的収支…下水道施設の設備投資に伴う収支で、収入は企業債や一般会計からの繰入金など、支出は建設改良費や企業債償還金などです。

区 分	決算額(税抜)
資 本 的 収 入	4億158万円
資 本 的 支 出	9億8,699万円

※資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

一般会計決算を1か月の家計簿でイメージ

市の決算額は規模が大きく、このままでは実感がわきにくいので、市の財政状況をより分かりやすくイメージできるように、一般会計決算額を年収480万円の家計に置き換えて、1か月当たりの家計簿として表しました。

収入	決算上の項目<歳入>
月収(給料など)	13万2,902円 市税 (93億3,900万円)
パート収入	3,923円 分担金や負担金、使用料、手数料 (2億7,566万円)
親からの仕送り	19万8,169円 地方交付税、国・府支出金など (139億2,528万円)
貯金からの引出し	1,822円 繰入金 (1億2,804万円)
借金(ローン)	2万5,997円 市債(市の借金) (18億2,680万円)
雑収入	1万3,542円 財産収入、寄附金、諸収入 (9億5,157万円)
前月の残り	2万3,645円 繰越金 (16億6,152万円)
収入の合計	40万円

支出	決算上の項目<歳出(性質別)>
食費	6万6,780円 人件費 (46億9,256万円) 市長や議員、職員などの給料など
医療費・養育費など	10万5,544円 扶助費 (74億1,661万円) 生活保護や児童手当、高齢者福祉など
借金返済	2万2,014円 公債費 (15億4,693万円) 市債の元金や利子の返済
光熱水費・通信費	4万2,184円 物件費 (29億6,427万円) 光熱水費や消耗品費、施設の管理費など
家の増改築・補修	4万5,868円 普通建設事業費、維持補修費 (32億2,312万円) 道路や学校、公園などの施設の新設、増設、補修など
保険料など	2万672円 補助費など (14億5,261万円) 一部事務組合などへの負担金
町内会費など	2万3,001円 補助費など、投資、出資金、貸付金 (16億1,622万円) 各団体の補助金など
子どもへの仕送り	3万2,588円 繰出金 (22億8,994万円) ほかの会計への支出
貯金への積み立て	1万1,590円 積立金 (8億1,443万円) 基金への積み立て
翌月への繰越	2万9,759円 歳入歳出差引額 (20億9,118万円)
支出の合計	40万円

※令和7年度に実施した物価高騰対策事業費分を除いた額で表しています。

※収入は、所得税・市府民税や社会保険料を控除した額としています。

市民1人当たりの年間支出

年間支出／47万4,752円／人 貯金／14万3,214円／人 借金／28万7,456円／人

- 民生費 21万4,527円 市民生活の安定と児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの経費
- 土木費 6万5,279円 道路、公園などの整備・管理、都市計画などまちづくりの経費
- 総務費 5万9,570円 財産の維持管理、広報、統計、選挙、市民協働推進などの経費
- 教育費 4万9,514円 児童生徒の教育環境の向上や学校施設の管理など学校教育のための経費、生涯学習の推進や文化施設の運営など社会教育の経費
- 衛生費 3万2,725円 生活習慣病予防など健康対策、感染症予防、環境対策、ごみの収集など、市民の衛生的な生活を確保する経費
- 公債費 2万7,674円 市債の元金と利子の返済の経費
- 消防費 1万7,243円 防災や消防、救急業務の経費
- 議会費 3,864円 議会の活動の経費
- 商工費 2,455円 中小企業の育成などの商工や観光振興の経費
- 農林水産業費 1,399円 農業の振興などの経費
- 労働費 441円 勤労者住宅資金融資など勤労者支援の経費
- その他 61円